

# 時代映す有期限墓地定着

## 跡継ぎがない夫婦2人だけで

仙台

あらかじめ使用期間を設定して埋葬する「有期限墓地」が仙台市で定着してきている。期間満了後に永代供養墓に合祀する方式で、個別に墓石を設置するタイプに加え、一区画を複数の人が共有する「マンションタイプ」も登場。跡継ぎがない夫婦などを中心に、支持を広げている。

(生活文化部・須永誠)

一方、東北でも増えてきた永代供養墓は合祀までの遺骨安置期間の設定に工夫が見られるほか、宗派にこだわらない墓地が一般化するなど、墓の多様化が一層進んできた。

### 満了後は永代供養墓に

使用期間は10年から10年単位で50年まで。期間終了後、永代供養墓に移す。1カ月で7区画の契約が

集合タイプだと、2人とも亡くなっても誰かが花を供えてくれるので寂しくないという人もいる。同霊園

公益財団法人アタラクシアが運営する、みやぎ霊園(仙台市青葉区郷六)は10月下旬、夫婦2人用の有期限墓地「夫婦百年の墓」共有型の受け付けを始めた。

成立するなど、反応は上々だ。使用料は10年が約42万円、50年が約77万円。ほかに名前などを刻むプレートに名前などを刻むプレート

管理事務所広報担当の遠藤洋晶さん(44)は話す。有期限墓地を選ぶ理由はさまざまだ。①跡継ぎがない②墓を長く維持できない事情がある③すぐに永代供養墓に入ることには抵抗がある④など。少子高齢化

### 多様化が加速

代7万円がかかる。期間中の墓地使用料や、終了後の墓じまいの費用を全て含むので、追加の負担はない。

東北でも増え続ける永代供養墓には、多くのタイプが出てきた。生協共立社(鶴岡市)が16年5月、東北の生協で初めて山形県三川町に開設した共同墓地・納骨堂「こころ協同の苑」は、期間を設定して遺骨を安置

中央にモニメントと香炉、花立てを備えた参拝スペースを設置、左右に計48区画の集合型墓地を配置し

「予想以上に反響がある。夫婦2人だけの墓が欲しい人や墓じまいで迷惑を掛けたくないという人が多い。

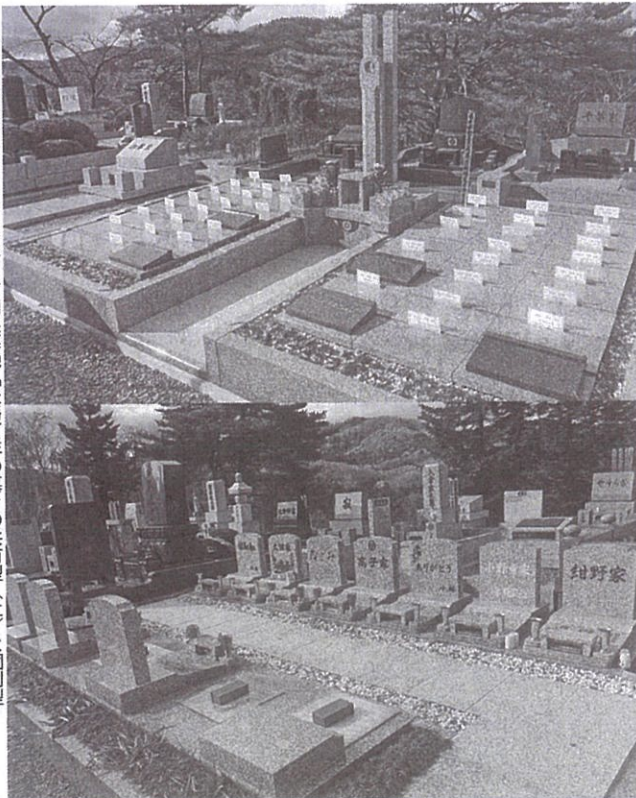
同霊園は2015年「夫婦百年の墓」の個別に墓石

を設置するタイプの受け付けを始めた。3期計60区画を用意したが、先月全ての契約を終了した。同タイプの使用期間は10〜100年で、使用料は53万〜約145万円。個別タイプを要望する声は多く、第4期の検討を始めたという。

「霊園としては墓参りの文化を守り続けたいが、墓の継承が難しい人が増えている。有期限墓地はさまざまな事情、要望に応えられるように」と遠藤さん。

期間終了時の合祀料5万円(一霊)などがかかる。1年半で100件を超す申し込みがあったが、個室タイプは最短の7年、柵も最短の3年など、安置期間が短いタイプに申し込みが集中しているという。

「早く心の整理をしたい人が多いのだと思う。時代に即した埋葬の形と言えるかもしれない」。共立社サイピス事業部長の草刈輝正さん(42)は語る。家として墓を守る従来の意識が変化しつつあることなどが、墓の多様化を加速させていると言えそうだ。



跡継ぎのない人たちに好評の有期限墓地「夫婦百年の墓」の共有型(上)と個別型(下) 仙台市青葉区のみやぎ霊園